#住みたい泉区

第286号　令和8年6月23日発行

おどりば新聞 ケアプラザ 7月号

発行　横浜市踊場地域ケアプラザ
住所　横浜市泉区中田東1－4－6
電話　801－2920
FAX　801－2923

親子野菜作り体験塾

好評につき今年もやります！

秋冬野菜、種まきから収穫まで親子で挑戦！

【対象者】　中田・しらゆり地区在住の親子（何歳でも）15組
原則として、各回に参加できる方。（出席できない回はご相談下さい）

【場　所】　泉区中田町（中田中央公園近く）＊駐車場はありません
※神奈中バス　泉郵便局前・三ツ俣・中西・西が岡一丁目各バス停から徒歩約15分。

【日　程】　令和8年9月～12月の全6回
（予定）　①9月6日（日）
②9月19日（土）
③10月10日（土）
④11月14日（土）
⑤11月21日（土）
⑥12月12日（土）

＊ 各回とも午前中の2時間程度（8:30～10:30）
＊ 天候や作物の生育状況によって日程が変更になる場合もあります。

【参加費】　一組につき3,500円（野菜の代金、体験料金、保険等）

【作る物】　大根、カブ、白菜、ホウレン草、水菜、ほか

申し込み開始は7月26日(日)10:00～ 先着15組

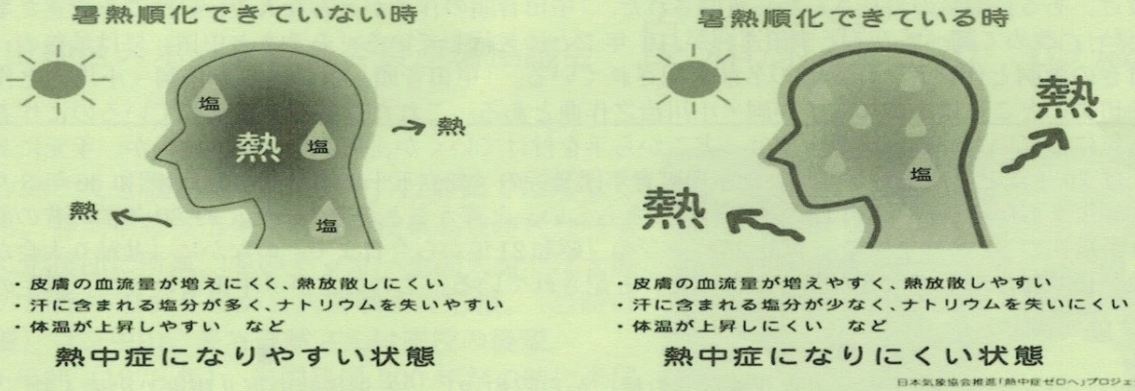
横浜市踊場地域ケアプラザ　TEL801－2114(専用回線)

熱中症に気を付けましょう！

暑い季節になってきました。気を付けているようでも、毎年熱中症で救急搬送されるかたが増える時期です。
本格的な暑さを迎える前に徐々に暑さに慣れていくことで予防ができます。

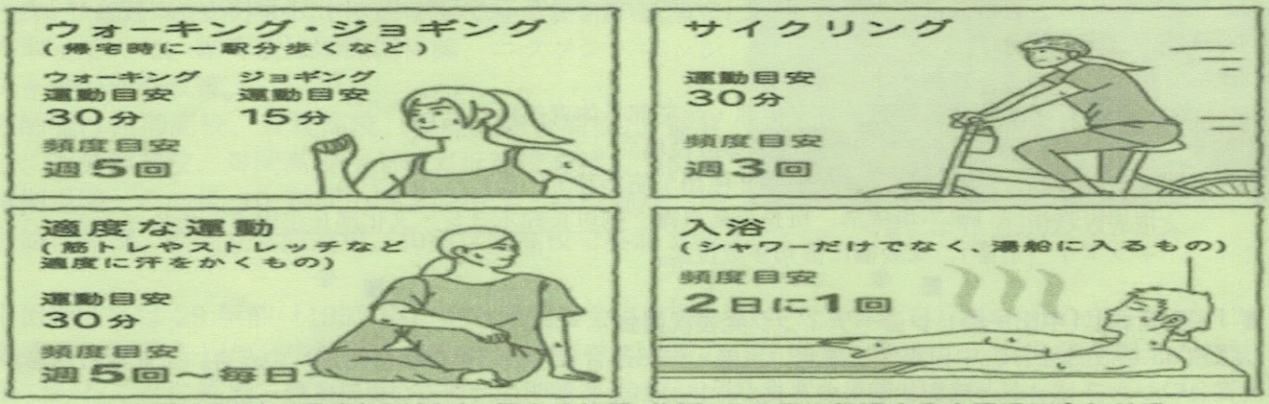
★熱中症対策として注目
暑熱順化「だんだん身体を暑さにならすこと」

暑熱順化による体の変化

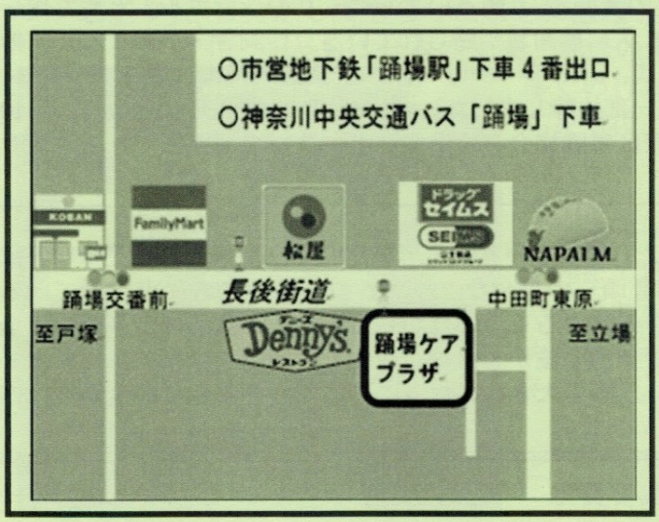


日本気象協会推進「熱中症ゼロへ」プロジェクト

日常生活でできる暑熱順化するための動きや生活



※上記はあくまで目安となります。個人の体質・体調、その日の気温や室内環境に合わせて無理のない範囲で行ってください。運動時は水分や塩分を適宜補給して、熱中症に十分注意してください。



踊場地域ケアプラザでは**毎月第１月曜日**が清掃日となります。3 階各部屋の利用ならびに予約はできません。デイサービスのみ通常通り営業しております。

ご意見・お問合せは
電話　８０１－２９２０（代表）
　　８０１－２９２２（地域包括）
　　８０１－２１１４（地域交流）
FAX　８０１－２９２３
E メール　shima@odoriba-cp.jp
担当　**嶋(しま)**までお願いします

“あらゆる人の尊厳を守り、常に人が人として、文化的生活を営めるよう、その自立に向けた支援に努める”

踊場地域ケアプラザは（福）神奈川県匡済会が運営しています。http://www.kyosaikai.jp/　ブログもあります

第229号　令和8年6月23日発行

中田かわら版　7月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会　　協力：中田連合自治会　泉区役所
制作：中田かわら版制作編集委員会　　横浜市踊場地域ケアプラザ

■この人に会いたい〈86〉

Pay it forward 「恩送り」の町、中田

中田地区スポーツ推進委員連絡協議会　良知康波さん　69歳

＜首には10回分のメダルが＞

ラチ　ヤスナミと読みます。「良知」は静岡では珍しくありません。静岡県藤枝市生まれ、藤枝東高校時代は弓道部と同時に応援団に所属。冬のサッカー全国大会では大阪の道頓堀の旅館に泊まりながら決勝戦まで応援。（当時は大阪で開催）ゴン中山、長谷部誠さんは高校の後輩。

丁度50年前（1976年）、米国建国200年祭の時に米国テネシー大学に留学、約1年半を過ごす。上智大学外国語学部卒、大学では帰国子女が多く英語力では全く太刀打ちできないので、必修科目以外に法学部や経済学部の授業を多く取っていた。副専攻は国際関係論、ニクソン・キッシンジャーの外交政策。

教師歴は西湘高校、長後高校（現藤沢総合高校）、鎌倉高校、上矢部高校、舞岡高校、七里ガ浜高校を経て55歳で早期退職。その後10年間山手学院中学・高校勤務。現在も鵠沼高校。聖園女学院高校、山手学院高校で英語を教えている。

◆　◆

中田地区には29年前（1997年）から南親交会に在住。町会で体育部を経て、そのままスポーツ推進委員になりました。中田連合自治会の行事やスポ推の「子供水泳教室」が半世紀を超える伝統行事であることに感銘、感動を覚えました。行事実行役員の大人たちを見た子どもたちが大人になった時に、同じように行事に積極的に関わって地域に還元してくれるといいなと思っています。それが「恩送り」、自分がしてもらったことに感謝し、次の世代に「恩返し」ならぬ「恩送り」で繋げていくことです。子どもは日本の未来、地球の未来、「ジュニアマーチングバンド」をはじめ、多くの行事、水泳授業支援（中田小）を通して、子どもたちを学校、家庭、地域で育てている風土のある中田は素晴らしいコミュニティだと思っています。

追加です。趣味のマラソンは横浜マラソン大会第1回から昨年の第10回まですべて完走。写真はその時のメダルです。若き頃、富士登山競争4回、トライアスロン226㎞、カヤックも。ハマスタではベイスターズの応援をしているそうです。

良知さんは中田連合自治会の理事会にスポーツ推進代表として出席されています。　（松本　正）

本紙に関するお問い合わせは踊場地域ケアプラザ嶋までご連絡ください。
【電話：045-801-2114】

#住むなら泉区

■とっておきの秘話情報＜3＞

中田の「民謡・音頭」誕生の話　　宮田　貞夫

中田には「中田音頭」と民謡「中田よいとこ」の二つがあり盆踊りなどで知られている。「中田よいとこ」は中田連合の賀詞交歓会の閉会の前に有志が壇上に上がり国分満義さんの指揮で合唱されるのが恒例になっている。

最近、ある自治会の会長さんから質問された。「中田音頭の作者がどんな人で、いつごろできた歌なのか知りたい」。改めて調べてみると中田連合が 10 年ごとに発行している「ふるさと中田」には最後のページに楽譜付きの歌詞と作詞者、作曲者の名前が記されている。「中田音頭」は鈴木ヨシ作詞・小川治之作曲。民謡「中田よいとこ」は小山よし子作詞・小川治之作曲とある。これだけ愛され普及しているのに作者のことは誰も気にしていないのが実態。では、どこから手を付けていくか、何かヒントはないか。手元にあるものと言えば 20 年ほど前に誰かから頂いた中田町青年団発行の「創立五十年周年記念誌」（昭和 36 年 3 月）があった。戦後まもなく当時の青年団の誰かが作ったらしい、と言うことが分かった。約 80 年前の昔の話である。これが最初の手がかりだった。同誌 23 ページの「昭和 21 年から今日まで」のなかに「盆踊り大会など作詞、作曲、振り付けの面で大変な苦心があった」と記されている。このことが「中田よいとこ」誕生のことなのか。

■　　■

このころ、知人を通して渡辺幸弘さん（中村）から昭和 21、22 年当時のガリ版刷りの同人誌「若草」「なかだ」の 4 冊が届けられた。まさに貴重な資料だった。「若草」（昭和 21 年 3 月、創刊号 16 ページ）、同 4 号（昭和 22 年 3 月、26 ページ）の文芸欄に鈴木ヨシ、小山とし子の名前が頻繁に出てくる。作曲者・小川治之の名がないということは外部の人と言うことになる。後で分かったが当時の中田小学校の音楽教諭だった。

＜作詞者二人の紹介＞

◎民謡「中田良いとこ」作詞・小山よし子
　中田町青年団（産業副部長、文化部・産業部・体育部）
　エッセイ「学びの夜」、　短歌など多数投稿。

◎「中田音頭」作詞・鈴木ヨシ（ヨシ子の 2 種類が使われている）
　中田町青年団（第六班機構、班長小島貞雄、副班長鈴木ヨシ・文化部長小山よし子）。
　エッセイ「追憶」、文芸欄に俳句多数投稿。

■　　■

■「中田音頭」「中田民謡」レコーディング発表祝賀会

昭和 63 年 9 月 4 日、中田小学校講堂、主催・中田連合自治会（奥津喬雄会長）のとき。上記渡辺さんから祝賀会のパンフレットと感謝状贈呈の写真が提供された。解明には貴重な資料になった。

戦後まもなく、町の青年団員らが新生のわが町への期待を込めて作って愛称していたが、いつの間にか忘れられていた。音頭と民謡が生まれたのは昭和 22 年の夏ごろ。「明るいまちづくりのシンボル」として作られた。30 年ぶりの復活だった。式典の最後に以下の 5 人に感謝状が贈られている。作詞者・小山よし子、鈴木ヨシ、作曲者・小川明治之、民謡愛好家・菊池八千代、JAK レコード KK。祝賀会の模様は翌 9 月 5 日付の神奈川新聞横浜版に 6 段抜きで大きく報道された（一部抜粋しました）。なお令和 8 年 2 月 23 日、区政 40 周年記念、「泉区民音頭」中田民謡・中田音頭の会が泉区舞踊協会（西風九弥恵会長）など協力で野毛地区センターで開催された。

編集後記

あることを書こうとして集中的に考え、思っていると不思議と向こうから資料や記録など欲しかったものが寄ってくることがある。例えば「中田音頭」の場合など作詞者の名前は楽譜に書かれているが、それがどこの誰か。どんな経歴の持ち主かは不明。作詞するくらいだから文才もあるはずだが、資料は全くない。ヒントは戦後間もない昭和 22 年ごろ、町の青年団の誰か。民謡、音頭の作詞は小山よし子、鈴木ヨシ、作曲者は不祥。中田には小山、鈴木の苗字は多い。これも大きなヒントになった。今年の夏の盆踊りは作者に感謝して踊りたい。　　（宮田貞夫）

◎発行：中田地区経営委員会「かわら版」制作編集委員会
委員長　宮田貞夫　　編集長　松本 正
編集委員；小島敏子、田中 進、河内満明、松本純子、鈴木賀津彦、嶋　宏之